



事業内容 IPO支援 / 内部統制構築支援 / M&A支援 / PR支援 / 人材流動化支援 / CRE支援 / AIプロファイリング

企業成長を支えながらサービスを拡げ、 株式市場や日本経済そのものに貢献します



株式会社タスク
代表取締役社長
竹山 徹弥

? 事業内容と強み、経営理念につながる 事業への想いをお聞かせください。

タスクは現在、IPO（新規株式公開）支援を中心に、内部統制構築支援、M&A支援、PR支援、人材流動化支援、CRE支援、AIプロファイリングの7事業を展開しているコンサルティング会社です。主力のIPO支援事業では、創業から24年間で500社以上のIPOを手掛け、多くのノウハウを培ってきました。しかし私たちは、IPOが顧客企業のゴールだとは思っていません。当然、企業は上場後も持続的な成長を目指します。当社はその成長をトータルに支援できるビジネスモデルであることが一番重要だと考えており、7つの事業展開は、その支援メニューの拡がりそのものです。言い換えれば、IPO支援は上場会社を増やす仕事ですが、私たちはそこにとどまらず、顧客企業と永続的に付き合うことで、株式市場や日本経済そのものに貢献していきたいということです。これがタスクの企業理念として明文化した私たちの想いです。

IPO支援事業では、顧客企業の経営内容を整理・分析する「企業プロファイリング」をベースに上

場申請書類を作成する他、社内規程集や業務フローの整備、事業計画・予算・中期経営計画の作成、コンプライアンス委員会の立ち上げなど、社内管理体制の整備を包括的に支援します。タスクには、大手監査法人出身の公認会計士や弁護士、上場準備経験者など、IPOに関する経験豊富なスタッフが多数在籍しており、支援業務における強みとなっています。

「企業プロファイリング」は、タスクが持つ大きな武器の一つであり、IPOだけでなくM&AやPR、その他の支援業務においても、その根幹を成すものです。タスクは、これまで数多くの企業のプロファイリング情報を蓄積してきました。その蓄積とTAKARA & COグループが持つ顧客ネットワークの拡がりを活用することで、M&Aや事業提携にかかわる支援では、企業成長につながる最適なパートナーシップのマッチングを提供することができます。

? 今後の事業展開について、タスクが 目指す方向性をお聞かせください。

今、日本企業のM&Aニーズが高まっており、タスクにおいてもM&A支援の引き合いが増えていきます。特にIPO支援を通じて関係を築いてきた顧客企業が、上場後の事業展開においてM&Aを必要とするケースは右肩上がりです。また、タスクがかかわるユニコーン企業の中にも、IPOを断念した場合の選択肢として、事業売却を検討している経営者は少なくありません。M&A支援事業はタスクにとって、IPO支援事業に次ぐ柱になりつつあります。

経営理念

IPOや上場企業の事業発展に係るコンサルティングを通じ、
日本社会や日本経済そのものへの貢献を実現

タスクの立ち位置は、売り手・買い手いずれかのフィナンシャルアドバイザーとなります。

これからのタスクの方向性として考えているのは、AIテクノロジーを駆使し、クラウドベースでM&Aに関する企業プロファイリング情報を提供するプラットフォームの事業化です。これは、アジア展開を行う企業向けに安全な情報を提供するために、世界各国の上場企業の財務情報をAI

によってプロファイリングし、M&Aや資本・業務提携などの商取引に結びつくインフラを確立するものです。そして将来的には、アジア版の情報提供メディアとして開設し、企業情報の売買を収益化していく構想です。まさに資本市場や日本経済そのものに貢献するという、私たちの理念をより明確に具体化していく事業であり、現在その実現に向けて準備を進めているところです。

? 人材育成においては、どのような要素を重視し、求めていますか？

私たちは、コンサルタントとして経営者に会い、会社の情報をヒアリングして整理・分析し、企業と企業を結ぶ役割を果たします。この仕事において大切な能力は、経営者RM（リレーションシップ・マネ



ジメント)です。多くの経営者との出会いをネットワーク化し、価値を生み出す資本として活かしていきます。そこにコンサルタント本人の信頼感が求められるのは、言うまでもありません。人材育成においては、知識・ノウハウの習得のみならず、経営者との信頼関係を築いていく「人間力」の部分を重視し、一人ひとりが強い経営者RMを維持できるよう心掛けています。

今後は、TAKARA & COグループ内でのシナジー創出において、タスクが持つ経営者ネットワークをさらに活用し、そこから生まれる成果を両社の事業にフィードバックさせていくことで、グループとしての成長機会の拡大につなげていきたいと思っています。